nikko am

グローバルＣｏＣｏ債ファンド 円ヘッジコース

運用報告書（全体版）

第１期（決算日　2014年10月17日）第３期（決算日　2014年12月17日）第５期（決算日　2015年２月17日）
第２期（決算日　2014年11月17日）第４期（決算日　2015年１月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「グローバルＣｏＣｏ債ファンド　円ヘッジコース」は、2015年２月17日に第５期の決算を行ないましたので、第１期から第５期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）
信託期間	2014年10月１日から2024年８月19日までです。
運用方針	主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド ＪＰＹヘッジド・クラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第１計算期は収益分配を行ないません。第２計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

<642584>

日興アセットマネジメント株式会社
東京都港区赤坂九丁目７番１号
http://www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　電話番号：0120-25-1404
午前９時～午後５時　土、日、祝・休日は除きます。
●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

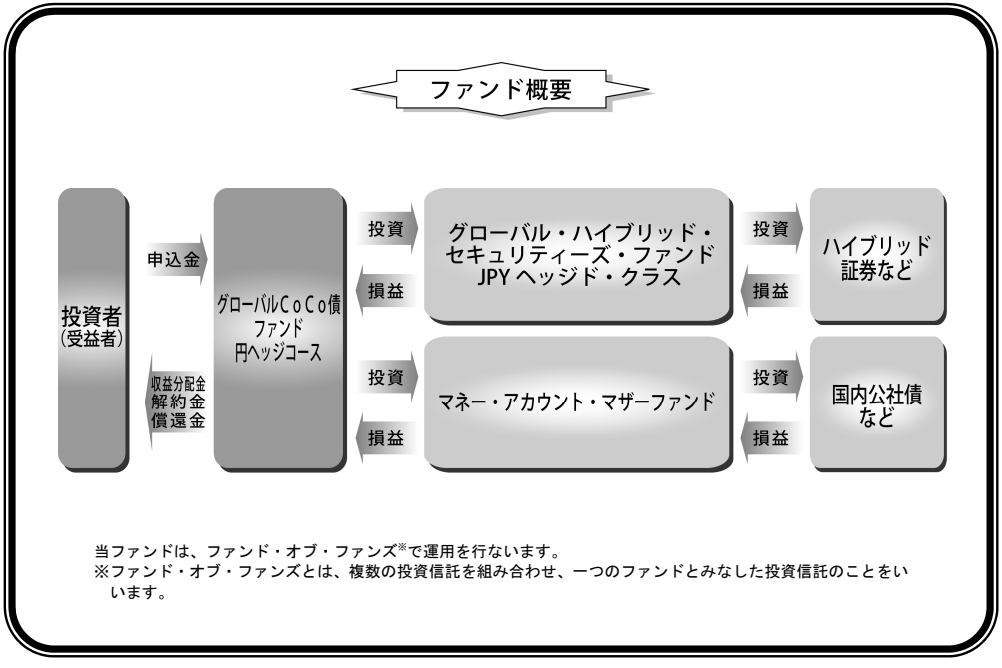
Contents

○ グローバルＣｏＣｏ債ファンド　円ヘッジコース‥‥‥‥‥‥ 1

（ご参考）投資対象先の直近の内容

◆グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド ＪＰＹヘッジド・クラス‥ 15

◆マネー・アカウント・マザーファンド‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 16



日興アセットマネジメントでは、本資料の他に当ファンドに関する情報等を別途開示している場合がございます。
詳しくは、当社ホームページ（http://www.nikkoam.com/）またはお取引先の窓口までお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率			
(設定日)	円	円	%	%	%	百万円
2014年10月１日	10,000	－	－	－	－	1,084
１期(2014年10月17日)	9,799	－	△2.0	0.1	97.8	1,433
２期(2014年11月17日)	10,062	45	3.1	0.1	97.0	1,941
３期(2014年12月17日)	9,806	45	△2.1	0.1	97.7	2,784
４期(2015年１月19日)	9,877	45	1.2	0.1	97.4	2,847
５期(2015年２月17日)	10,065	45	2.4	0.1	97.4	2,928

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

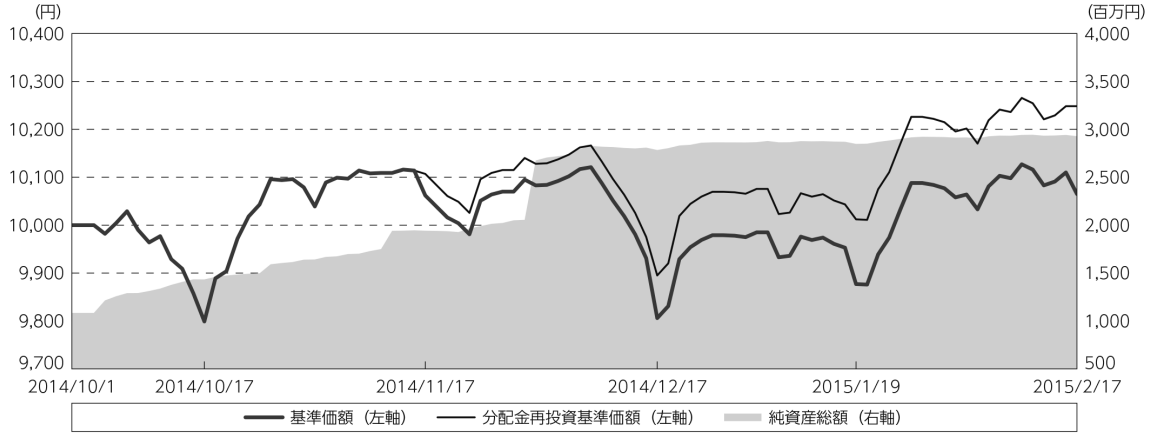
決算期	年月日	基準価額		債券組入比率	投資信託証券組入比率
			騰落率		
	（設定日）	円	%	%	%
第１期	2014年10月１日	10,000	－	－	－
	（期　末）				
	2014年10月17日	9,799	△2.0	0.1	97.8
	（期　首）				
	2014年10月17日	9,799	－	0.1	97.8
第２期	10月末	10,039	2.4	0.1	98.0
	（期　末）				
	2014年11月17日	10,107	3.1	0.1	97.0
	（期　首）				
	2014年11月17日	10,062	－	0.1	97.0
第３期	11月末	10,070	0.1	0.1	96.9
	（期　末）				
	2014年12月17日	9,851	△2.1	0.1	97.7
	（期　首）				
	2014年12月17日	9,806	－	0.1	97.7
第４期	12月末	9,975	1.7	0.1	97.4
	（期　末）				
	2015年１月19日	9,922	1.2	0.1	97.4
	（期　首）				
	2015年１月19日	9,877	－	0.1	97.4
第５期	１月末	10,058	1.8	0.1	97.4
	（期　末）				
	2015年２月17日	10,110	2.4	0.1	97.4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。
（注）当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2014年10月１日～2015年２月17日）

作成期間中の基準価額等の推移



設 定 日：10,000円
第５期末：10,065円（既払分配金(税込み)：180円）
騰 落 率：　2.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の推移

設定時10,000円の基準価額は、第５期末に10,065円（分配後）となり、分配金を加味した騰落率は＋2.5%となりました。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。ハイブリッド証券の中でもCoCo債を中心に投資しています。また、為替ヘッジを行なうことにより、為替変動リスクの低減を図っています。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞
・保有銘柄からのインカム収益が得られたこと。

投資環境

（CoCo債市況）

2014年10月の発行市場は、欧州中央銀行（ECB）による資産査定、健全性審査の結果公表と時期が重なった為に、新発が見られませんでした。資産査定の公表を前に、欧州の各金融機関は資本不足を指摘され追加的資本増強を迫られた場合に備え、新発を控えていました。

11月は、信用市場や株式市場のボラティリティ（変動性）が大きく低下しました。グローバル株式市場は2014年の終わりに向け非常に強含み、インド、日本、中国（上海）等の株式市場は上昇し、米国株はダウ工業株30種平均指数やS&P500種指数が過去最高値を記録しました。一方で、グローバルに利回りが低下しました。

12月は、CoCo債市場は下落しました。大幅に下げた原油価格が世界経済のインフレ指標に影響を与え、市場のボラティリティは上昇しました。さらに、強含んだアメリカドルが先進国、エマージング諸国の金融政策に影響を与えました。政治的な出来事も欧州市場のボラティリティ上昇に大きく影響し、継続する対ロシア制裁措置がロシアおよびユーロ圏の経済指標にマイナスに影響しました。また、ギリシャがユーロ圏から離脱する可能性に対する懸念が再燃し、あらゆる資産クラスにおいて難しい状況をもたらしました。一方、FRB（米国連邦準備制度理事会）が米国の強いGDP（国内総生産）と雇用情勢にも関わらず利上げに対して慎重な姿勢を示したため、エマージング市場およびユーロ圏での困難な状況は若干緩和し、12月終盤の市場安定に貢献しました。

2015年１月にCoCo債市場は小幅下落しました。世界的なエネルギー価格安、アメリカドル高の傾向が継続しました。スイス国立銀行は、ユーロに対する上限撤廃を決定し、スイスフラン高を招きました。１月下旬にはECBが量的金融緩和プログラムに乗り出しました。また、ギリシャの選挙では、急進左派連合のシリザが議会総選挙で勝利し保守政党であるANEL（独立ギリシャ人）との連立政権を樹立しました。２月に入ってからは市場が安定を見せたことから、CoCo債市場は上昇しました。

（国内短期金利市況）

期間中、無担保コール翌日物金利は安定的に0.09％を下回る水準で推移しました。国庫短期証券（ＴＢ）３ヵ月物金利は、期間の初めの0.00％台半ばから、日銀による積極的な短期国債の買入れ姿勢などを背景にマイナス金利へと低下が進み、2014年11月下旬には－0.08％台となりました。2015年１月上旬には、日銀がＴＢの買入れ額を減らしたことなどを受けて0.02％まで上昇したものの、その後は、日銀がＴＢの買入れを増額したことなどを背景に再びマイナス金利に低下するなど、もみ合いで推移し、0.00％で期間末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）
　収益性を追求するため「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス」円建受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

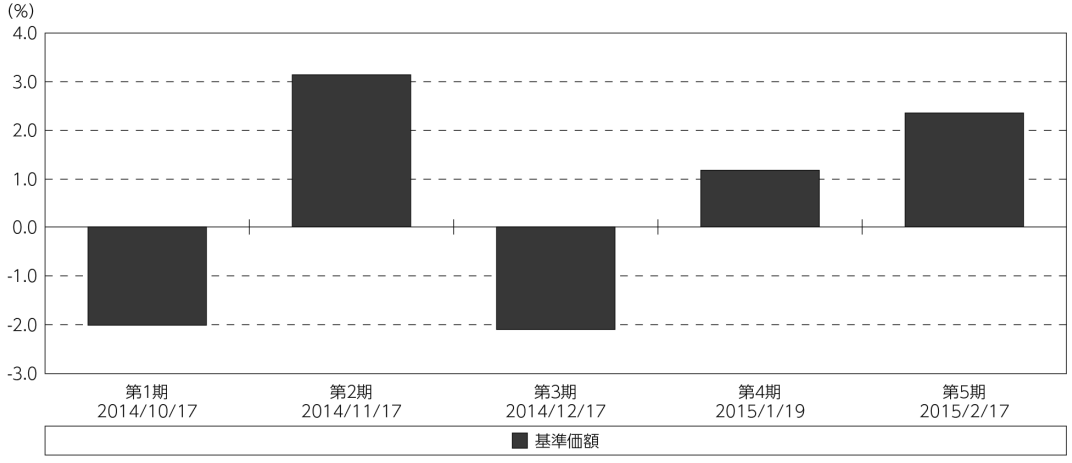
（グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス）
　G-SIFIs（グローバルなシステム上重要な金融機関）に含まれる銀行を中心としたCoCo債、ハイブリッド証券を主たる投資対象としました。相対的に投資妙味が高いと判断した銘柄に投資を行ないました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）
　運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

　当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。
　下記のグラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

第１期～第５期における分配金は、第１期は約款の規定に基づき分配を行なわず、第２期～第５期は基準価額水準や市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第１期	第２期	第３期	第４期	第５期
	2014年10月１日～2014年10月17日	2014年10月18日～2014年11月17日	2014年11月18日～2014年12月17日	2014年12月18日～2015年１月19日	2015年１月20日～2015年２月17日
当期分配金		45	45	45	45
（対基準価額比率）		0.445％	0.457％	0.454％	0.445％
当期の収益		45	45	45	45
当期の収益以外		－	－	－	－
翌期繰越分配対象額		62	59	67	79

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）
　引き続き、「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス」円建受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド JPYヘッジド・クラス）
　グローバル市場がデフレ環境および政治的リスク（ロシア、ギリシャ）に順応するにつれ、2015年を通じてアメリカドルは強含むものとみています。難しい経済環境のなか、新興国市場の多くが利下げをしており、これが為替市場にも影響を与えています。景況感が悪化して、さらなる調整が必要となる可能性も懸念されます。多くの中央銀行が経済成長を重視するスタンスを取っているなかで、為替市場のボラティリティが今後の重要なテーマになると考えられます。ユーロ圏における銀行資産圧縮の動きの終了は近づいており、2015年にもこれが起こるとみています。この資産圧縮の規模の形跡は、特に2014年10月のECBによる資産査定ストレステスト以降、資金供給の伸びの改善に示されています。これはCoCo債を含むハイブリッド証券が相対的に安全な投資であるという見方を示していると思われます。世界の銀行からのCoCo債の発行は2015年には増加するとみられ、これはファンドに相対的に価値の高い取引機会を、さらに提供するものと考えています。債券市場においては、低金利環境が継続し、利回りに対する要求が大きくなっています。Ｇ７（先進７ヵ国）のシステム上重要な金融機関のCoCo債およびハイブリッド証券で構成される当ファンドは、現在の環境下におけるクレジット市場で最も良好なリスク調整後リターンを提供し得ると考えています。世界的に、利回りのある金融商品の探求が激化するなかで、当ファンドの主たる投資対象であるバンク・ハイブリッド債はさらに注目を集め、利回りの縮小と価格上昇を招くと考えられ、これは2015年を通じての当ファンドにプラスに寄与するものとみています。以上から今後も従来同様、G-SIFIsに含まれる銀行を中心としたCoCo債、ハイブリッド証券を主たる投資対象として、運用を継続して参ります。
　将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）
　引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。
　将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

　今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

○１万口当たりの費用明細

（2014年10月１日～2015年２月17日）

項目	第１期～第５期 金額	第１期～第５期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	39	0.394	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(13)	(0.134)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(25)	(0.247)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(1)	(0.012)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	4	0.037	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(4)	(0.035)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合計	43	0.431	
作成期間の平均基準価額は、10,035円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。
（注）この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合もあります。

○売買及び取引の状況

（2014年10月１日～2015年２月17日）

投資信託証券

銘柄		第１期～第５期 買付 口数	第１期～第５期 買付 金額	第１期～第５期 売付 口数	第１期～第５期 売付 金額
		千口	千円	千口	千円
国内	グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド ＪＰＹヘッジド・クラス	2,870,517	2,880,182	34,193	34,146

（注）金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第１期～第５期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド	2,950	2,962	32	33

○利害関係人との取引状況等

（2014年10月１日～2015年２月17日）

利害関係人との取引状況

＜グローバルＣｏＣｏ債ファンド　円ヘッジコース＞

区分	第１期～第５期					
	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
投資信託証券	2,880	2,880	100.0	34	34	100.0

＜マネー・アカウント・マザーファンド＞

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2014年10月１日～2015年２月17日）

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2014年10月１日～2015年２月17日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2015年２月17日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	第５期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド ＪＰＹヘッジド・クラス	2,836,324	2,852,207	97.4
合計	2,836,324	2,852,207	97.4

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘柄	第５期末	
	口数	評価額
	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド	2,917	2,929

○投資信託財産の構成

（2015年２月17日現在）

項目	第５期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	2,852,207	96.9
マネー・アカウント・マザーファンド	2,929	0.1
コール・ローン等、その他	89,252	3.0
投資信託財産総額	2,944,388	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項　　目	第１期末	第２期末	第３期末	第４期末	第５期末
	2014年10月17日現在	2014年11月17日現在	2014年12月17日現在	2015年１月19日現在	2015年２月17日現在
	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,447,290,205	1,953,135,393	2,806,694,027	2,864,128,877	2,944,388,480
コール・ローン等	44,154,257	65,629,006	83,772,785	74,452,149	75,778,891
投資信託受益証券(評価額)	1,401,683,436	1,882,745,934	2,720,078,575	2,773,843,467	2,852,207,554
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	1,452,450	1,941,977	2,842,536	2,861,463	2,929,542
未収入金	－	2,818,375	－	12,971,669	13,472,367
未収利息	62	101	131	129	126
(B) 負債	13,758,984	11,283,495	22,638,189	16,256,520	16,315,478
未払金	13,125,606	970,371	7,473,129	－	－
未払収益分配金	－	8,684,418	12,776,105	12,975,666	13,091,189
未払信託報酬	577,141	1,435,557	2,007,566	2,651,421	2,376,896
その他未払費用	56,237	193,149	381,389	629,433	847,393
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	1,433,531,221	1,941,851,898	2,784,055,838	2,847,872,357	2,928,073,002
元本	1,462,982,691	1,929,870,801	2,839,134,581	2,883,481,553	2,909,153,182
次期繰越損益金	△ 29,451,470	11,981,097	△ 55,078,743	△ 35,609,196	18,919,820
(D) 受益権総口数	1,462,982,691口	1,929,870,801口	2,839,134,581口	2,883,481,553口	2,909,153,182口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	9,799円	10,062円	9,806円	9,877円	10,065円

(注) 当ファンドの設定時元本額は1,084,110,034円、第1～５期中追加設定元本額は1,835,174,882円、第1～５期中一部解約元本額は10,131,734円です。

(注) １口当たり純資産額は、第１期0.9799円、第２期1.0062円、第３期0.9806円、第４期0.9877円、第５期1.0065円です。

○損益の状況

項　　目	第１期	第２期	第３期	第４期	第５期
	2014年10月１日～2014年10月17日	2014年10月18日～2014年11月17日	2014年11月18日～2014年12月17日	2014年12月18日～2015年１月19日	2015年１月20日～2015年２月17日
	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	**917**	**10,053,878**	**16,350,081**	**16,848,068**	**17,000,705**
受取配当金	－	10,051,314	16,346,412	16,843,938	16,997,066
受取利息	917	2,564	3,669	4,130	3,639
(B) 有価証券売買損益	**△27,892,720**	**38,071,883**	**△75,956,199**	**18,848,141**	**53,135,836**
売買益	5	38,072,069	44,125	18,848,425	53,145,341
売買損	△27,892,725	△　186	△76,000,324	△　284	△　9,505
(C) 信託報酬等	**△　633,378**	**△ 1,575,442**	**△ 2,203,200**	**△ 2,909,810**	**△ 2,608,524**
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	**△28,525,181**	**46,550,319**	**△61,809,318**	**32,786,399**	**67,528,017**
(E) 前期繰越損益金	**－**	**△28,525,181**	**9,293,931**	**△65,291,492**	**△45,473,901**
(F) 追加信託差損益金	**△　926,289**	**2,640,377**	**10,212,749**	**9,871,563**	**9,956,893**
（配当等相当額）	（　　－）	（　1,011,928）	（　6,135,584）	（　6,397,998）	（　6,574,142）
（売買損益相当額）	（△　926,289）	（　1,628,449）	（　4,077,165）	（　3,473,565）	（　3,382,751）
(G) 計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	**△29,451,470**	**20,665,515**	**△42,302,638**	**△22,633,530**	**32,011,009**
(H) 収益分配金	**－**	**△ 8,684,418**	**△12,776,105**	**△12,975,666**	**△13,091,189**
次期繰越損益金（Ｇ＋Ｈ）	**△29,451,470**	**11,981,097**	**△55,078,743**	**△35,609,196**	**18,919,820**
追加信託差損益金	△　926,289	2,640,377	10,212,749	9,871,563	9,956,893
（配当等相当額）	（　　－）	（　1,011,928）	（　6,135,586）	（　6,397,998）	（　6,574,142）
（売買損益相当額）	（△　926,289）	（　1,628,449）	（　4,077,163）	（　3,473,565）	（　3,382,751）
分配準備積立金	－	9,340,720	10,664,739	13,163,746	16,438,999
繰越損益金	△28,525,181	－	△75,956,231	△58,644,505	△ 7,476,072

（注）損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
（注）損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注）損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注）分配金の計算過程(2014年10月１日～2015年２月17日)は以下の通りです。

項　　目	2014年10月１日～2014年10月17日	2014年10月18日～2014年11月17日	2014年11月18日～2014年12月17日	2014年12月18日～2015年１月19日	2015年１月20日～2015年２月17日
a. 配当等収益(経費控除後)		9,724,794円	14,146,913円	15,474,673円	16,368,427円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)		8,300,344円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金		2,640,377円	6,135,586円	6,397,998円	6,574,142円
d. 信託約款に定める分配準備積立金		0円	9,293,931円	10,664,739円	13,161,761円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)		20,665,515円	29,576,430円	32,537,410円	36,104,330円
f. 分配対象収益(１万口当たり)		107円	104円	112円	124円
g. 分配金		8,684,418円	12,776,105円	12,975,666円	13,091,189円
h. 分配金(１万口当たり)		45円	45円	45円	45円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第１期	第２期	第３期	第４期	第５期
１万口当たり分配金（税込み）	－	45円	45円	45円	45円

○お知らせ

約款変更について

2014年10月１日から2015年２月17日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、2013年６月に改正された金融商品取引法および投資信託及び投資法人に関する法律ならびにこれに関連する政令・内閣府令が2014年12月１日に施行されたため、改正後の法令に対応させるべく、2014年12月１日付にて信託約款に所要の変更を行ないました。（第40条、第45条、第46条、第49条の２）

ご参考　「資産、負債、元本及び基準価額の状況」および「損益の状況」に記載している一般的な項目についての説明。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項　　目	説　　明
(A) **資産**	ファンドの有する財産の合計額
コール・ローン等	金融機関向けの短期貸付資金や短期金融商品等の残高
各有価証券等(評価額)	株や債券、ファンド等の有価証券等の評価額
未収入金	入金予定の有価証券の売却代金等
未収配当金	入金予定の株式等の配当金
未収利息	入金予定の債券等の利息
(B) **負債**	支払い予定額の合計
未払金	支払い予定の有価証券の買付代金等
未払収益分配金	支払い予定の収益分配金
未払信託報酬	支払い予定の信託報酬の金額
(C) **純資産総額(Ａ－Ｂ)**	ファンド全体の評価金額
元本	ファンドの元本部分の残高
次期繰越損益金	純資産総額と元本残高との差額で、翌期に繰越す損益金の合計額
(D) **受益権総口数**	受益者の保有総口数
１(万)口当たり基準価額(Ｃ÷Ｄ)	ファンドの単位当たりの時価

○損益の状況

項　　目	説　　明
(A) **配当等収益**	ファンドが直接受け取った配当金や利息等の合計
受取配当金	ファンドが直接受け取った株式等の配当金の合計
受取利息	ファンドが直接受け取ったコール・ローンや債券等の利息の合計
(B) **有価証券売買損益**	有価証券売買時の損益と評価損益の合計
売買益	各有価証券の売買益と期末評価益の合計
売買損	各有価証券の売買損と期末評価損の合計
(C) **信託報酬等**	信託報酬や保管費用等のファンドの経費
(D) **当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)**	当期における収支合計
(E) **前期繰越損益金**	前期分の繰越損益金と分配準備積立金の合計から当期中の解約で発生する取り崩し分を控除した金額
(F) **追加信託差損益金**	受益者がファンドに新規に払込んだ金額とファンドの元本との差額（基準価額と単位当たり元本との差額）を調整した金額
（配当等相当額）	（配当等に相当する額）
（売買損益相当額）	（売買損益に相当する額）
(G) **計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)**	期中の収支の総合計額
(H) **収益分配金**	収益分配金の合計額
次期繰越損益金(Ｇ＋Ｈ)	翌期に繰り越す損益金の合計額（期中の収支の総合計額から収益分配金の金額を引いたもの）
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金
（配当等相当額）	（配当等に相当する額）
（売買損益相当額）	（売買損益に相当する額）
分配準備積立金	分配金を支払うための準備積立金
繰越損益金	繰越損益の合計金額

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

種類・項目		グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド ＪＰＹヘッジド・クラス ケイマン籍円建外国投資信託
運用の基本方針		
	基本方針	信託財産の中長期的な成長を目指します。
	主な投資対象	世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を主要投資対象とします。
	投資方針	・主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資を行ない、相対的に高水準かつ安定的な利子・配当等収益の獲得を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指します。 ・外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないます。
	主な投資制限	・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	収益分配	原則として、毎月10日（休日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。 なお、管理会社の判断により収益分配を行なわないことがあります。
ファンドに係る費用		
	信託報酬など	純資産総額に対し年率0.74% （国内における消費税等相当額はかかりません。）
	申込手数料	ありません。
	信託財産留保額	ありません。
	その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
その他		
	投資顧問会社	アルジェブリス・インベストメンツ（ＵＫ）エルエルピー
	管理会社	日興ＡＭグローバル・ケイマン・リミテッド
	信託期間	2163年３月26日まで
	決算日	原則として、毎年12月末日

マネー・アカウント・マザーファンド

運 用 報 告 書

第５期（決算日　2014年10月14日）
（2013年10月16日～2014年10月14日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信　託　期　間	2009年10月30日から原則無期限です。
運　用　方　針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組　入　制　限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

フ　ァ　ン　ド　概　要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<636843>

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

◈設定以来の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
(設定日)	円	%	%	百万円
2009年10月30日	10,000	－	－	4
1期(2010年10月12日)	10,009	0.1	50.6	59
2期(2011年10月12日)	10,018	0.1	66.8	598
3期(2012年10月12日)	10,027	0.1	78.6	699
4期(2013年10月15日)	10,035	0.1	88.6	778
5期(2014年10月14日)	10,042	0.1	60.8	707

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

◈当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2013年10月15日	10,035	－	88.6
10月末	10,036	0.0	81.2
11月末	10,036	0.0	81.0
12月末	10,037	0.0	80.0
2014年 1月末	10,038	0.0	98.8
2月末	10,038	0.0	79.7
3月末	10,039	0.0	59.6
4月末	10,039	0.0	73.1
5月末	10,040	0.0	69.1
6月末	10,040	0.0	60.6
7月末	10,041	0.1	58.4
8月末	10,041	0.1	87.0
9月末	10,042	0.1	60.9
(期末)			
2014年10月14日	10,042	0.1	60.8

(注) 騰落率は期首比です。

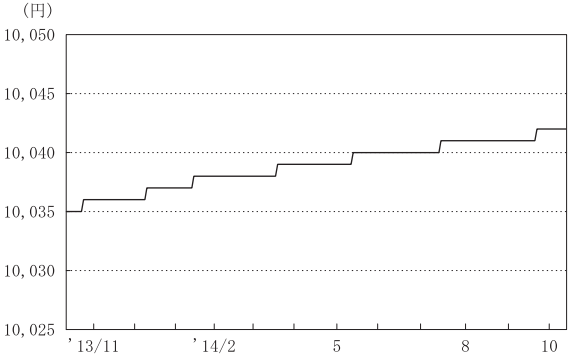
◈運用実績

（2013年10月16日～2014年10月14日）

基準価額の推移

期首10,035円の基準価額は、期中に７円値上がりし、期末に10,042円となりました。

基準価額の推移



期　首	期中高値	期中安値	期　末
2013/10/15	2014/09/22	2013/10/16	2014/10/14
10,035円	10,042円	10,035円	10,042円

基準価額の変動要因

期中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

＜値上がり要因＞

・利息収入など。

（投資環境）

期中、無担保コール翌日物金利は安定的に概ね0.09％を下回る水準で推移しました。

国庫短期証券（ＴＢ）３ヵ月物金利は、期首から2014年１月上旬にかけては、0.06％近辺を中心にもみ合いの展開が続きました。１月中旬から３月下旬にかけては、日銀による積極的な金融緩和姿勢などを受けて低下基調となり、0.02％台まで低下しました。４月に入ると、年度末を越えたことなどによる買い需要の後退や、日銀によるＴＢ買入れ額が市場予想を下回るとの懸念などから上昇し、４月末にかけては、0.06％台となりました。７月中旬にかけては、日銀による金融緩和の継続や、海外からの投資資金の流入などを背景に0.02％近辺まで低下しました。その後は横ばいの展開が続きましたが、９月に入ると、日銀による積極的な短期国債の買入れ姿勢などを背景にマイナス金利での出合いが観測されるなど、限界的な金利の低下が続きました。

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

◈今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

◈１万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

(2013年10月16日～2014年10月14日)

該当事項はございません。

◈売買及び取引の状況

(2013年10月16日～2014年10月14日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 105,256,432	千円 104,466,714 (1,050,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)
(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注) 債券現先を含めています。

◈利害関係人との取引状況等

(2013年10月16日～2014年10月14日)

期中における利害関係人との取引はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人等です。

◈組入資産の明細

(2014年10月14日現在)

国内(邦貨建)公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					５年以上	２年以上	２年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	430,000	429,998	60.8	－	－	－	60.8
	(430,000)	(429,998)	(60.8)	(－)	(－)	(－)	(60.8)
合計	430,000	429,998	60.8	－	－	－	60.8
	(430,000)	(429,998)	(60.8)	(－)	(－)	(－)	(60.8)

(注) ( )内は非上場債で内書きです。
(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

国内(邦貨建)公社債銘柄別

銘柄	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
第479回国庫短期証券	－	220,000	219,998	2014/12/15
第481回国庫短期証券	－	210,000	209,999	2014/12/22
合計		430,000	429,998	

◈投資信託財産の構成

(2014年10月14日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	429,998	59.9
コール・ローン等、その他	288,182	40.1
投資信託財産総額	718,180	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

◈資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2014年10月14日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	718,180,143
コール・ローン等	288,181,430
公社債(評価額)	429,998,306
未収利息	407
(B) 負債	11,078,610
未払解約金	11,078,610
(C) 純資産総額(A－B)	707,101,533
元本	704,168,192
次期繰越損益金	2,933,341
(D) 受益権総口数	704,168,192口
1万口当たり基準価額	10,042円

（注）当ファンドの期首元本額は775,562,943円、期中追加設定元本額は1,514,620,670円、期中一部解約元本額は1,586,015,421円です。

（注）2014年10月14日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- インデックスファンドＭＬＰ(毎月分配型) 100,736,278円
- エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース 98,652,002円
- エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネープールファンド) 98,173,504円
- エマージング・プラス・成長戦略コース 73,111,261円
- エマージング・プラス(マネープールファンド) 68,732,390円
- 世界標準債券ファンド 38,371,516円
- 資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル・コース>(毎月分配型) 31,897,437円
- 日興ブルベアセレクト マネープール・コース 18,029,795円
- 日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略コース) 17,821,336円
- グリーン世銀債ファンド 17,320,498円
- 中華圏株式ファンド(毎月分配型) 17,048,429円
- エマージング・プラス・円戦略コース 15,610,977円
- ピムコＵＳハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし 10,947,907円
- アジア社債ファンド Ｂコース(為替ヘッジなし) 9,948,589円
- 高金利成長通貨ファンド(毎月分配型) 6,494,555円
- グローバルＣｏＣｏ債ファンド 新興国高金利通貨コース 6,013,878円
- ＳＭＢＣ・日興 世銀債ファンド 5,265,573円
- インデックスファンドＭＬＰ・為替ヘッジあり(適格機関投資家向け) 5,252,085円
- エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース 5,226,787円
- 欧州社債ファンド Ｂコース(為替ヘッジなし) 4,682,488円
- アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)ブラジルレアル・コース 4,620,987円
- アジア社債ファンド Ａコース(為替ヘッジあり) 4,496,517円
- 日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(円ヘッジコース) 4,174,430円
- グローバルＣｏＣｏ債ファンド 先進国高金利通貨コース 3,596,411円
- 日興グラビティ・ファンド 3,050,083円
- ＲＳ豪ドル債券ファンド 2,990,880円
- ピムコＵＳハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり 2,612,495円
- 日興マネー・アカウント・ファンド 2,553,952円
- エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース 2,380,418円
- アジアＲＥＩＴオープン(毎月分配型) 2,234,520円
- 日興ＧＳグロース・マーケッツ・ファンド 2,194,506円
- 資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型) 2,026,521円
- 日興キャピタル・ストラテジー・ファンド毎月分配型(通貨アルファ戦略コース) 1,898,262円
- アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり) 1,642,048円
- グローバルＣｏＣｏ債ファンド ヘッジなしコース 1,580,439円
- ＵＳハイインカム・ストラテジー・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし 1,445,191円
- グローバルＣｏＣｏ債ファンド 円ヘッジコース 1,379,056円
- 資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型) 1,252,008円
- 欧州社債ファンド Ａコース(為替ヘッジあり) 1,158,974円
- 世界のサイフ２(毎月分配型) 982,619円
- 世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)ブラジルレアルコース 940,546円
- アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)インドネシアルピア・コース 754,050円
- アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし) 713,210円
- アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)インドルピー・コース 677,433円
- 資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型) 572,097円
- ＵＳハイインカム・ストラテジー・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり 538,934円
- アジアリートファンド(毎月分配型) 457,624円
- 世界標準債券ファンド(１年決算型) 437,508円
- 世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)資源国通貨コース 150,011円
- 日興ブルベアセレクト 米ドル・ダブルブル・コース(毎月分配型) 136,028円
- 日興ブルベアセレクト ブラジルレアル・ダブルブル・コース(毎月分配型) 134,399円
- 上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCI エマージング) 99,902円
- 世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)オーストラリアドルコース 90,053円
- 日興キャピタル・ストラテジー・ファンド毎月分配型(円ヘッジコース) 88,695円
- 世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)ヘッジなしコース 76,277円
- アジア債券ファンド(毎月分配型) 69,833円
- 日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(通貨プレミアムコース) 67,835円
- ＡＢグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型)為替ヘッジあり 61,678円
- 日興ブルベアセレクト 米ドル・ベア・コース 58,061円
- 日興ブルベアセレクト ブラジルレアル・ベア・コース 50,914円
- 日興ブルベアセレクト 豪ドル・ダブルブル・コース(毎月分配型) 50,052円
- インド株式ファンド(毎月分配型) 44,339円
- 日興ブルベアセレクト 豪ドル・ベア・コース 32,130円
- 日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース) 30,888円
- ＡＢグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型)為替ヘッジあり 29,155円
- ＡＢグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型)為替ヘッジなし 27,311円
- シンガポール高配当株式ファンド(毎月分配型) 26,130円
- 上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI) 19,997円
- 上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 19,983円
- 上場インデックスファンド中国Ｈ株(ハンセン中国企業株) 19,983円
- 上場インデックスファンド CNX Nifty 先物(インド株式) 19,983円
- 上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT) 19,977円
- オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型) 19,818円
- ＡＢグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型)為替ヘッジなし 15,775円
- 上場インデックスファンド新興国債券(バークレイズ Local EM 国債) 9,981円

（注）１口当たり純資産額は1.0042円です。

◈損益の状況

(2013年10月16日～2014年10月14日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	449,768
受取利息	449,768
(B) 有価証券売買損益	90
売買益	90
(C) 当期損益金(A＋B)	449,858
(D) 前期繰越損益金	2,735,331
(E) 追加信託差損益金	5,818,634
(F) 解約差損益金	△6,070,482
(G) 計(C＋D＋E＋F)	2,933,341
次期繰越損益金(G)	2,933,341

(注) 損益の状況の中で(B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(E)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 損益の状況の中で(F)**解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

◈お知らせ

約款変更について

2013年10月16日から2014年10月14日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。